



★ 業務紹介 ★

令和5年度 屋外タンク実務担当者講習会

事故防止調査研修センター

昭和52年(1977年)の消防法改正により、特定屋外タンク貯蔵所の基準が大幅に整備され、開放点検等が義務付けられてから既に40年以上経過しました。この間、地震災害や設備の経年劣化等が要因となり、火災、爆発、流出等の事故が何度となく発生しましたが、その都度、これらの事故を教訓に屋外貯蔵タンクの技術基準が見直され、安全対策等の整備が進められてきました。

また、近年、高度経済成長期に建設された屋外タンク貯蔵所などは、老朽化が進み維持管理のあり方が課題となっており、さらにソフト面では、保安の確保や技術の伝承が重要な課題となっています。

本講習会は、これらの課題を踏まえ、技術基準の重要性と安全を重視した維持管理のあり方に焦点を当て、事例等に基づいた実務的な要素を取り入れ、適切な審査等に関する知識・技術を習得することを目的として開催しています。

昨年度より東京会場での集合研修を再開いたしましたが、本年度は東京会場に加え、大阪会場の開催も再開します。なお、WEBによる配信も引き続き行いますので、ご都合の良い日程や会場・方法にて受講いただけます。

本年度の講習の概要は次のとおりです。

1 開催会場・日時

- (1) 東京会場 令和5年11月22日(水) 10時から16時30分(予定)
科学技術館サイエンスホール(東京都千代田区)
- (2) 大阪会場 令和5年12月1日(金) 10時から16時30分(予定)
大阪科学技術センター(大阪府大阪市)
- (3) WEB配信 令和6年1月15日(月)から2月29日(木)まで
※WEB配信による受講者様方への紙冊子のテキスト配布はございません。テキストと同じ内容のPDFをWEBページよりご覧いただけます。

2 開催プログラム

- (1) 屋外貯蔵タンクに係る基準の概要
- (2) 屋外貯蔵タンクの変更申請について
- (3) タンクの使用状況の違いによる腐食の傾向や近年の補修状況等について
- (4) 屋外貯蔵タンクの「基礎」を考える!
～タンク本体の変更時に、基礎の安全性をどう考えるか～
- (5) 地震による屋外タンク貯蔵所の被害について
(1964年新潟地震から2022年福島県沖を震源とする地震まで)